

令和7年度 第3回 堺市 SDGs 未来都市推進本部会議 議事要旨

日時 令和8年3月2日（月）11時30分～11時45分

場所 堺市役所本館4階 秘書課会議室

議題 堺市 SDGs 未来都市計画（2026～2030）の策定について

<市長>

堺市 SDGs 未来都市計画（2026～2030）（案）と現行計画の最も大きな違いは、計画期間が SDGs のゴールの 2030 年までということである。なぜ SDGs に取り組むのか、その本質的な意味を踏まえて行動に移す必要がある。行政として社会課題や世界的な問題に向き合う姿勢と着実な行動が問われており、SDGs に取り組むことが都市魅力の向上につながるということを確認してもらいたい。

また、行政だけでは十分な成果を上げることは難しいため、行政が先駆的に行動し、2,200 以上の団体が参画する「さかい SDGs 推進プラットフォーム」会員をはじめ、市内の団体や企業など本市に関わる多くの皆様と思いを共有しながら輪を広げ、効果的に取組を進める必要がある。

計画内容の確認に加え、堺市全体としてどのような行動ができるか、また行うべきかを考えてもらいたい。

<市長公室長>

12 月の本部会議後に実施した堺市 SDGs 未来都市計画（2026～2030）（案）のパブリックコメントの結果や計画の最終案を共有する。

本日の会議を踏まえて、堺市 SDGs 未来都市計画（2026～2030）の策定を進めたいと考えているので、ご意見があれば、よろしく願います。

政策企画部より資料説明

<佐小副市長>

本市が 2030 年のゴールに向けて取組を進めるにあたって、他都市の優良な事例をご紹介したい。

日本経済新聞社の「全国市区第4回 SDGs 先進度調査」で全国総合1位の豊田市では、SDGs の取組の一環として、こどもたちに SDGs を理解してもらうため、企業や市民活動団体等が SDGs に関連する講座等を行う「とよた SDGs ミライ大学」という取組を行っている。

本市でも SDGs の取組を進めているが、住民の皆様にも SDGs の理解を深めていただき、行動変容につなげることは難しい課題であると考えている。

豊田市の取組では、市の公募により登録した企業や市民活動団体等が、こどもに SDGs を理解してもらうため、創意工夫した講座を行っている。

未来を担うこどもたちに SDGs を理解し行動してもらうことは、今後の SDGs 推進において重要であるため、参考としてもらいたい。

<市長公室長>

本案をもって堺市 SDGs 未来都市計画（2026～2030）の策定を進める。各局においては、2030 年の SDGs のゴール達成をめざし、計画に掲げた KPI は必ず達成するという強い意志で取組を進めるよう、よろしく願います。